

令和元年度
国臨協関信支部 群馬地区会
定期総会議案書



開催日時：令和2年11月9日（月）～11月13日（金）

書面決議〆切：令和2年11月20日（金）

令和元年度 国臨協関信支部群馬地区会
定期総会議案書

目 次

1. はじめに
2. 会長挨拶
3. 議事
 - 1) 令和元年度経過報告
 - 2) 令和元年度会計報告
 - 3) 会計監査報告
4. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 令和元年度事業方針（案）
 - 2) 第 2 号議案 令和元年度予算（案）
 - 3) 第 3 号議案 規約改定について
 - 4) その他
5. 令和 2 年度役員選出
6. 書面決議にて採択
国立病院臨床検査技師協会関東信越支部群馬地区会会則
7. 国臨協関信支部群馬地区会会員名簿（令和 2 年 10 月 1 日 現在 52 名）
 - 1) 施設別名簿
 - 2) 異動者名簿

（別紙）群馬地区会だより「令和元年度（2019）新人会員紹介」

1. はじめに

令和元年度国臨協関信支部群馬地区会定期総会は、会員の感染予防の観点から書面開催とした。また、次年度の開催方法については、改めて COVID-19 による県内や周辺地域の流行や各施設長による制限状況を踏まえ、群馬地区技師長会や新役員にて協議を行い決定する。

各会員による今年度の議案承認については、別紙書面議決書により執り行うものとする。

2. 会長挨拶

国臨協関信支部

群馬地区会 会長 土井 誠一

紅葉の候、地区会員の皆様におかれましては益々益々活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度の地区会活動につきましては担当理事を中心に研修会やイベントの計画を準備しておりました。しかしながら、2月頃には新型コロナウイルス感染症対策で各種イベントや飲食の自粛が始まり我々の活動も自粛を余儀なくされ、集まれる機会を待ち望んでいましたが、叶うことができずに総会を向かえることとなってしまいました。

他の地区会、協議会も書面決議で行われていることを踏まえ、残念ではありますが当地区会も今年度は皆様のご同意を得て書面での開催を行わせていただきます。

来年度以降新たな方法で活動できるよう、規約の改訂案を提示しております。

ご審議の程よろしくお願いいたします。



臨江閣別館（前橋市）

3. 議事

1) 令和元年度経過報告

会員の皆様には、平素より関信支部群馬地区会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。群馬地区会では、事業方針に則り検査技術と知識の向上のため情報共有と会員相互の親睦を計り、日々活動し会務を遂行して参りました。

現在までの活動については、定例会議を年3回行うところですが、第1回以降は、COVID-19の感染予防の観点からメールによる情報共有を中心に行って参りました。

本年度事業については、各事業を円滑に進めていくために緊密な連携を図り、各理事の意見を反映させコロナ禍であっても活動可能な範囲で事業を進めて参りました。

会議関係として、第1回の定例会議を令和元年11月29日に開催し、役務の分担や年間活動計画の確認と研修会の企画、地区代表者会議の議題について情報共有を行いました。本部との連携活動として今年の1月18日に開催された国立がん研究センター中央病院での令和元年度国臨協関信支部地区代表者会議へ土井会長が出席いたしました。

広報活動では、関信支部ニュース第219号へ2稿、第220号に3稿の投稿を行いました。今後も、各会員のご協力を頂きながら積極的に投稿を行い関信支部会員に群馬地区会をより知って頂くための努力を行って参ります。

学術活動については、今年の3月7日に第1回群馬地区会研修会を独立行政法人国立病院機構渋川医療センターにて「臨床検査技師のチーム医療の参画～ERへの業務支援～」を開催する予定でしたが、COVID-19感染拡大に伴い中止といたしました。今後、研修会の企画・開催にあたっては、感染対策を考慮し、Web会議システム等の活用と各会員のご協力を頂きながらより円滑で実りある研修会になるように努力をして参ります。

支部表彰者については、永きにわたり国立医療及び各県における臨床検査部門の発展に多大な功績を納められた有次 耕三氏（国立療養所栗生楽泉園臨床検査技師長）を推薦いたしました。

群馬地区会の活動が、少しでも会員皆様のお役に立てるように努力して行きたいと考えております。どうぞ皆様の大きなお力添え頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

(1) 会議関係（理事会等）

① 第1回理事会

日 時：令和元年11月29日（木）17：30～

場 所：NH0 渋川医療センター

出席者：土井、林、隠岐、黒岩、阿久津

欠席者：宮下

報告事項：特記なし

議 題：群馬地区会年間活動計画について

第1回群馬地区会研修会（2月29日開催予定）について

地区代表者会議について

② 第2回以降の理事会（開催中止：これ以降、メールによる連絡の実施）

③ 令和元年度国臨協関信支部地区代表者会議

日 時：令和2年1月18日（土）13：30 ～ 17：00

場 所：国立がん研究センター中央病院 診療棟 1F 会議室 A

出席者：NH0 渋川医療センター 土井 誠一

(2) 広報活動

① 関信支部ニュース第219号投稿

令和元年11月「第47回国臨協関信支部学会 学会賞選考委員会報告」

国立療養所栗生楽泉園 林 元久

② 関信支部ニュース第219号投稿

令和元年11月「支部表彰を受賞して」

NH0 沼田病院 赤堀 良道

③ 関信支部ニュース第220号投稿

令和2年1月「新年を迎えて」

NH0 渋川医療センター 土井 誠一

④ 関信支部ニュース第220号投稿（第73回国立病院総合医学会参加してきました）

令和2年1月「ベストポスター賞を受賞して」

NH0 高崎総合医療センター 藤本 敬久

⑤ 関信支部ニュース第 220 号投稿（地区会だより）

令和 2 年 1 月「群馬地区会交流会に参加して」

NHO 渋川医療センター 國光 奏江

⑥ 国臨協関信支部学会地区会コーナー掲示（中止）

(3) 学術活動

① 第 1 回群馬地区会研修会（開催中止）

令和 2 年 3 月 7 日（土） 14：00～

「臨床検査技師のチーム医療の参画」～ER への業務支援～

講師：国立研究開発法人国際医療研究センター病院 中村 良幸

② 第 2 回群馬地区会研修会（開催なし）

(4) 友好活動

① レクリエーション（開催なし）

② 令和元年度群馬地区会懇親会（開催なし）

(5) その他

① 関信支部 支部表彰推薦 被表彰者：有次 耕三

令和 2 年 6 月 27 日

推薦者：群馬地区会会長 土井 誠一



水沢観音 六角堂（渋川市）

2) 令和元年度会計報告

会則では、会計年度を10月1日より、翌年9月末日迄とするが、令和元年度については、以下の期間に変更する。

令和元年度の会費納入については、以下の通りである。

自：令和元年11月23日

至：令和2年9月30日

(収入の部)

(単位：円)

項目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	差異	備考
前年度繰越金	¥113,347	¥113,347	¥0	
会費収入	¥52,000	¥49,000	▲¥3,000	1,000×49名
関信支部補助金	¥0	¥6,000	¥6,000	
地区会助成金	¥0	¥0	¥0	
合計	¥165,347	¥168,347	▲¥3,000	

(支出の部)

項目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	差異	備考
総会	¥10,000	¥2,892	¥7,108	飲み物代
研修会	¥60,000	¥22,000	¥38,000	講師謝礼・車代
理事会運営費	¥10,000	¥5,940	¥4,060	理事交通費等
福利厚生	¥10,000	¥0	¥10,000	
予備費	¥75,347	¥8,000	¥67,347	懇親会補助
合計	¥165,347	¥38,832	¥126,515	

収入額－支出額＝次年度繰越金

168,347円－38,832円＝129,515円

令和2年度への繰越金は129,515円となります。

令和2年9月30日

会計理事 黒岩 いすず

3) 令和元年度会計監査報告

会計監査 沼田病院 中條 幹夫

3) 令和元年度 会計監査報告

令和元年度 会計監査報告

令和2年10月10日

国臨協関信支部群馬地区会

会長 土井 誠一 殿

NHO 沼田病院

会計監査

中條幹夫



国臨協関信支部群馬地区会 規約第8条5に基づき、令和2年10月10日に
高崎総合医療センターにおいて、令和元年度の会計監査を実施しましたので報告
致します。

令和元年度の会計会務に於いて、現金、台帳および各種証拠書類等の管理は
適切に行われていることを確認致しました。

以上

4. 議案審議

1) 第1号議案 令和2年度事業方針（案）

[はじめに]

会員の皆様には平素より国臨協関信支部群馬地区会活動に対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。令和2年度におきましても、臨床検査専門職並びに国臨協関信支部や技師長協議会のご指導を頂きながら、会員の親睦を図って活動してまいります。

本年度は、COVID-19の感染拡大における活動自粛により十分な地区会活動を遂行することが出来ませんでした。来年度に於いては、地区会活動における感染予防を考慮しオンライン等を活用しながら事業をより一層充実させるとともに、会員の皆さまの要望を取り入れ円滑な事業運営を行って参ります。個々のレベルアップやスキルアップについても引き続き、情報交換を行っていきたいと考えております。群馬地区会がよりアクティブな会となりますよう、会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

[事務局関係]

理事会はオンライン等を積極的に活用しながら必要に応じて開催し、理事・各施設間の連絡・情報発信は電子メールにて密に行い会務運営に支障が無いように努めます。また、関信支部および他地区会活動や群馬地区会の各施設の動向を収集、把握したうえで、会員には迅速に情報発信を行い、会員が群馬地区会を身近のものと感じてもらえるように努めて参ります。

- 1) 理事会開催
- 2) 関信支部ニュースへの投稿
- 3) 地区会定期総会の開催

[渉外関係]

各施設における会員相互の親睦を図り、迅速な情報提供を行いたい。

- 1) レクリエーションの開催
- 2) 関信支部学会での地区会ポスター作成
- 3) 懇親会の開催

[学術関係]

会員の学術・技術の向上に役立つ情報提供や研修会を企画開催していきたい。

- 1) 研修会・講演会の開催
- 2) 最新情報等の発信

2) 第2号議案

令和2年度予算（案）

自：令和2年10月1日

至：令和3年9月30日

（収入の部）

（単位：円）

項目	令和元年度決算額	令和2年度予算額	備考
前年度繰越金	¥113,347	¥129,515	
会費収入	¥49,000	¥11,000	¥1,000×11名（*） （令和2年度新入会員）
関信支部助成金	¥6,000	¥6,000	研修会助成金¥3,000/1回 研修会年2回を予定
合計	¥168,347	¥146,515	

（支出の部）

項目	令和元年度決算額	令和2年度予算額	備考
総会	¥2,892	¥10,000	飲み物代等
研修会	¥22,000	¥60,000	講師謝礼・車代、飲み物代
理事会運営費	¥5,940	¥10,000	理事交通費等
福利厚生	¥0	¥10,000	
予備費	¥8,000	¥56,515	交流・懇親会補助、 地区会ポスター代
合計	¥38,832	¥146,515	

（*）令和2年度の会費徴収について

新型コロナウイルスの流行による活動自粛により十分な地区会活動が行えなかった為、理事会での検討により今年度に限り登録会員による会費徴収は行わず、新規登録会員のみの徴収とする。

3) 第3号議案

規約改定について（第10条の3、4追加）

第10条 この会は、次の会議を開催する。

- 1、年1回の総会を開催し、当日の出席会員を持って構成する。やむを得ない理由により出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。この場合出席したものと見なす。
- 2、理事会は適時開催する。

3、災害（自然災害を含む）等により集合型総会が開催できない場合は、書面決議等による総会を開催することができる。

4、書面決議等を開催した場合、書面決議書の 2/3 をもって決議する。

4) その他

特記なし

5. 令和 2 年度役員選出

新旧役員

令和元年（2019）		令和2年（2020）	
会長	渋川医療センター	会長	高崎総合医療センター
土井 誠一		金子 司	
事務局長	栗生楽泉園	事務局長	渋川医療センター
林 元久 → 古江 裕志		川上 喜久	
会計監査	沼田病院	会計監査	渋川医療センター
中條 幹夫		土井 誠一	
会計	高崎総合医療センター	会計	栗生楽泉園
黒岩 いすず		古田 学	
(*)2019 年会計と 2021 年会計を交換			
理事		理事	
阿久津 朋子	渋川医療センター	時澤 実花	渋川医療センター
隠岐 博文	沼田病院	荒木 涼	沼田病院
宮下 真依	高崎総合医療センター	保田 剛史	高崎総合医療センター
(欠)	栗生楽泉園	(欠)	栗生楽泉園

(*) 会計担当：令和 3 年度（2021）会計（渋川医療センター）とする。

6. 書面決議にて採択

国立病院臨床検査技師協会関東信越支部群馬地区会会則

第1条 この会は、国立病院臨床検査技師協会関東信越支部群馬地区会（略称、国臨協群馬地区会）という。

第2条 この会は、国臨協関信支部と連携し、学術及び技術の向上と、施設相互の交流親睦をはかることを目的とする。

第3条 この会は、前条の目的達成のため、必要な行事を行う。

第4条 この会の会員は、群馬地区内の独立行政法人国立病院機構、国立療養所に勤務する検査科の職員で構成し、各施設に単位をおく。

第5条 会員は、この会則に定められた会費を納入する。

第6条 この会は会員の会費で運営し、会の収支は総会に報告する。

第7条 この会には、次の役員を置く。

会長 1名、事務局長 1名、会計 1名、理事 若干名、会計監査 1名。

会計は、各施設持ち回りとする。（高崎→沼田→渋川→楽泉園）

第8条 役員の任務は次の通りとする。

1. 会長は会を代表し、会務を総括する。
2. 事務局長は会長を補佐し、会務を遂行する。
3. 理事は常務を担当する。
4. 会計は会費を総括し、予算の執行にあたる。
5. 会計監査は本会の会計を監査する。

第9条 役員の任期は1年とするも、再選を妨げない。

但し、任期途中で欠員が生じた場合は、当該単位で速やかに補充する。

また、諸事情により総会開催時期が変更になった場合は総会をもって役員の任期とする。

第10条 この会は、次の会議を開催する。

1. 年1回の総会を開催し、当日の出席会員を持って構成する。やむを得ない理由により出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。この場合出席したものと見なす。
2. 理事会は適時開催する。
3. 災害（自然災害を含む）等により集合型総会が開催できない場合は、書面決議等による総会を開催することができる。
4. 書面決議等を開催した場合、書面決議書の2/3をもって決議する。

第 11 条 この会の会計年度は 10 月 1 日より、翌年 9 月末日迄とするが、行事等にて総会開催時期が変更された場合、総会前に会計を閉め、会計監査を行う。

第 12 条 この会の会則は、総会の承認を得て、改廃する事ができる。

付則

第 13 条 1) この会則は、平成 18 年 3 月 11 日より施行する。

2) この会則は、平成 22 年 10 月 17 日より施行する。

3) この会則は、平成 25 年 12 月 7 日より施行する。

4) この会則は、令和元年 11 月 23 日より施行する。

5) この会則は、令和 2 年 11 月 28 日より施行する。

細則

第 14 条 会則第 5 条の会費は年額 1,000 円とし、総会時まで全納する。但し、必要に応じて臨時徴収することができる。

第 15 条 会則第 10 条 1 項の総会については、各単位持ち回りとする。但し、理事会の協議で変更することができる。（高崎 → 沼田 → 渋川 → 楽泉園）

第 16 条 理事会の協議を開催した場合は、活動費として 500 円支給する。

但し、総会及びレクリエーションは除く。

第 17 条 慶弔規定は次の通りとする。

1. 会員死亡の場合は弔電及び生花又は花輪を送る。

2. 配偶者、実父母（同居義父母）、子の死亡の場合は弔電を送る。

7. 国臨協関信支部群馬地区会会員名簿 (令和 2年10月 1日 現在 52 名)

1) 施設別会員名簿 (国臨協 職員名簿2020版順)

独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター 臨床検査科 : 26 名

	氏 名	カナ(氏)	カナ(名)	役職名	担当業務
1	金子 司	カネコ	ツカサ	技師長	掌理 全般
2	松本 善信	マツモト	ヨシノブ	副技師長	補佐 生理
3	小林 智恵	コバヤシ	トモエ	主任	採血 検体
4	藤本 敬久	フジモト	ユキヒサ	主任	生理
5	日野 歩	ヒノ	アユミ	主任	微生物
6	小林 伸彦	コバヤシ	ノブヒコ	主任	検体
7	松本 裕美子	マツモト	ユミコ	主任	病理 細胞診
8	白井 洋平	シライ	ヨウヘイ	主任	検体 輸血
9	林 陽介	ハヤシ	ヨウスケ	主任	病理 細胞診
10	西村 千寿子	ニシムラ	チスコ	臨技	生理
11	浦田 佑子	ウラタ	ユウコ	臨技	生理
12	小林 良太	コバヤシ	リョウタ	臨技	検体
13	宮山 和樹	ミヤヤマ	カズキ	臨技	病理 細胞診
14	原 沙織	ハラ	サオリ	臨技	微生物
15	飯田 あいみ	イタダ	アイミ	臨技	輸血 生理
16	伊藤 晋子	イトウ	ユキコ	臨技	生理
17	土橋 実加	ツチハシ	ミカ	臨技	生理 細胞診
18	宮下 真依	ミヤシタ	マイ	臨技	生理 病理
19	保田 剛史	ヤスタ	ゴウシ	臨技	検体 輸血
20	黒岩 いすず	クロイワ	イスズ	臨技	病理 細胞診
21	永井 涼花	ナガイ	ススカ	臨技	生理 検体
22	今井 佳子	イマイ	カコ	臨技	生理 採血
23	川津 彰菜	カワス	アキナ	臨技	検体 採血
24	斎藤 真純	サイトウ	マスミ	臨技	生理
25	宮本 仁美	ミヤモト	ヒトミ	臨技	微生物 検体
26	佐藤 美月	サトウ	ミツキ	非常勤	検体

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター 臨床検査科：18 名（育休 3 名）

	氏 名	カナ(氏)	カナ(名)	役職名	担当業務
1	土井 誠一	トイ	セイイチ	技師長	掌理 検体
2	川上 喜久	カワミ	ヨシヒサ	副技師長	補佐 採血
3	上杉 弘尚	ウエスキ	ヒロナツ	主任	検体 輸血
4	阿久津 朋子	アクツ	トモコ	主任	微生物
5	長澤 大輔	ナガサワ	ダイスケ	主任	病理 細胞診
6	白倉 聡	シラクラ	サトシ	主任	生理
7	高橋 あゆ子	タカハシ	アユコ	臨技	検体 微生物
8	仲吉 麻実	ナカヨシ	マミ	臨技	生理
9	相川 碧	アイカワ	ミドリ	臨技	生理 採血
10	時澤 実花	トキサワ	ミカ	臨技	病理
11	入澤 弘輔	イリサワ	コウスケ	臨技	微生物
12	橋爪 遥	ハシヅメ	ハルカ	臨技	生理
13	吉井 聖恵	ヨシイ	サトミ	臨技	生理
14	岩丸 日南子	イワマル	ヒナコ	臨技	生理
15	池田 結衣	イケダ	ユイ	臨技	検体 輸血
16	國光 奏江	クニミツ	カナエ	臨技	検体 輸血
17	藤川 穂香	フジカワ	ホノカ	臨技	生理
18	岡庭 瑞紀	オカニワ	ミツキ	臨技	生理

独立行政法人 国立病院機構 沼田病院 研究検査科：6 名

	氏 名	カナ(氏)	カナ(名)	役職名	担当業務
1	中條 幹夫	ナカジョウ	ミキオ	技師長	掌理 検体
2	松井 孝男	マツイ	タカオ	副技師長	補佐 検体
3	太田 明宏	オオタ	アキヒロ	主任	病理 輸血
4	隠岐 博文	オキ	ヒロフミ	主任	生理 微生物
5	荒木 涼	アラキ	リョウ	臨技	検体 病理
6	鷹取 有紀	タクトリ	ユキ	臨技	生理 検体

国立療養所 栗生楽泉園 研究検査科：3名

	氏 名	カナ(氏)	カナ(名)	役職名	担当業務
1	有次 耕三	アリツキ	コウゾウ	技師長	掌理 生理
2	古江 裕志	フルエ	ヒロシ	副技師長	補佐 検体
3	古田 学	フルタ	マナブ	主任	細菌 検体

2) 異動会員名簿（令和元年 11月23日～令和 2年10月 1日）

独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター : 7 名

	氏 名	詳 細
転入	林 陽介	栃木医療センターから
転入	保田 剛史	西新潟中央病院から
採用	斎藤 真純	当院
採用	宮本 仁美	当院
転出	黒木 政宏	千葉東病院へ
転出	原田 邦彦	災害医療センターへ
退職	山口 徳実	

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター : 6 名

	氏 名	詳 細
転入	川上 喜久	栃木医療センターから
転入	白倉 聡	国立国際医療研究センター病院から
採用	藤川 穂香	当院
採用	岡庭 瑞紀	当院
転出	仲間 盛之	東京病院へ
退職	田中 孝志	

独立行政法人 国立病院機構 沼田病院 : 5 名

	氏 名	詳 細
転入	中條 幹夫	信州上田医療センターから
採用	荒木 涼	当院
転出	五十嵐 和也	東京医療センターへ
退職	赤堀 良道	
退職	滝澤 幸也	

国立療養所 栗生楽泉園 : 2名

	氏 名	詳 細
転入	古江 裕志	西新潟中央病院から
転出	林 元久	宇都宮病院へ